



八幡神社

# つるさき

発行所  
鶴崎神社  
早島町早島2220  
〒701-0304  
TEL 482-0097

国では  
「八幡  
神社」  
の名称  
である

八幡大神をお祀りしている神社【八幡神社（宮）】は非常に多く全国で四万五千社、岡山県には三百数十社にのぼる。また当県では備中国と美作

が、備前国では「八幡宮」となっている。ご祭神に誉田別命（ホンダワケノミコト）【応神天皇】を祀る神社をいう。一般

には比賣神（ヒメノカミ）と息長  
姫命（オキナガタラシメノミコト）【神功皇后】を合わせ祀る。「ヤ

ハタ」とも訓むのは朝鮮語で海を  
いう「ハタ」に由来するとも説明

されるが、旧説では天より八流の  
旗の降下によると言い、八は大八

洲（オオヤシマ）【日本の国土】の  
義、幡は三韓降伏の軍功によつて

称するとされる。全国の八幡神社  
(宮)は宇佐神宮をもつて本宗と

し、清和天皇貞觀元年（八五九）

に大安寺僧行教の奏請によつて山城國男  
山に石清水八幡宮として勧請。後冷泉天  
皇朝に頼朝は男山の分靈を奉じて相模國  
由比郷に勧請したのが鎌倉の鶴岡八幡宮  
であり、武士の登場と共に全國に鎮祭を

みるに至つて、社格を有するものだけ  
でも四三〇社に達していた。

当社の八幡神社は拝殿向かつて左側の  
建物がそれであり、神宮皇后三韓征伐  
のとき、早島の海岸に船泊りがあり、  
ご休息遊ばされた処なので里人が光榮  
に思い皇后の御力を戴こうとして皇后  
の御子である品陀和氣命を齋き祭つた  
と伝えられている。また、古記

によると当社の八幡神社は屏風  
島八幡宮と称し、神武天皇、八  
幡大神（品陀和氣命）【ホンダワ  
ケノミコト】をご祭神として、

永和元年（一三七五）早島の屏  
風島に建立された小さな社で  
あつたが、当地の地頭家が早島

の氏神として元中元年（一三八  
四）に再建し、その後、応永（一  
三九四～一四二八）の頃青龍山

の吉備津神社から吉備津彦命荒  
魂を勧請し、この時から現在のよう  
な御両社を合わせ祭る形態となつた。  
従つて八幡神社は元々は早島の氏神で  
あり、鶴崎神社の前身であることが窺  
い知れる。

## 神に近づくということ

平成六年四月二十七日の夕刊の人間模様欄に小野岩吉さん（歌人）の紹介記事がありました。その中で、現在の私の心を最も打つた一首

生還を祈ることなど無くなりて

### 荒れ放題の産土の神

この短歌の持つ深い意味に、愕然としました。私が若い頃、日・中（支那）事変は起きました。若い日本人が地方の産土神（うぶすなのかみ）に勝運を祈つて、勇躍戦場の人となつたのです。

年を経るに従い、日本国民の生活は底をつけ、衣食住に困却をきわめるようになりました。その様な時必勝を信じ、武運長久を神に祈願した多くの若者が、無言の帰還をする悲運を、たびたび目にすることになりました。戦争とは悲しいものです。

# 投稿

そして、素朴な自然（神）への畏敬の心は、戦争の終結を期に日本人の心から遠い、希薄な存在となつたようです。それと共に、地方に散在している神社もさびれていたのではないかと思います。最近、神社の修復の話を耳にすることがありますが、自然力を崇拜する敬神の念が、人々の心に芽生えかけているのではないかと感じます。

人間が欲望の赴くまま、横暴な生活を繰り返せば、交通事故を始め、いろいろな

事故がその数を増すでしょう。私は、家庭生活で家族の者が仏壇の前で、祖先の人たる、両親は、産土神に詣でて我が子の健全な成長を祈願するといつた人間として落ち着いた時間があればいいなと思います。

鶴崎神社 氏子

私は、このような形や姿を家庭宗教の場と言つてもいいと思います。公立の高校では、自然に対する畏敬の念



## 神道Q & A

### 【質問】

花町・塩地地区でお祀りしている荒神様があります。境内に大木が数本ありますて、その落ち葉の清掃に難儀しております。

相談の結果、その枝葉を切り落とすことになり、平成十年十月に実施されました。それに先立ち、鶴崎神社宮司さんにお願いして、お祓いのお祭を行いました。

樹木、その枝葉の伐採に関しての、神道の真意を教えて下さい。

### 【答え】

神道は元々自然崇拜から成立したものです。古代の人々は「万物神あり」と称して、全てのものには神が宿るとしていました。特に大木や岩、

滝、山、海などは神様の依代（ヨリシロ）として畏敬の念を持つていました。即ち、大木などには神様が宿つてお

り、木そのものが神社と同じように崇拜の対象となっているのです。木の神様は久々能智神（くくなのかみ）という神様で、森を作り、水を蓄え、酸素を作り出してくれる生命の源となる神様です。私たちにはこの神様によつて生かされており、常に感謝の気持ちを忘れてはなりません。しかし、生活する上においては、その木を切ることも致し方ないことです。が、大木をもとから切る事は相当な事情が有る場合は慎むべきでしょう。枝葉に関しては精気を失わせないように気を付けて切れば良いでしょう。何れにしても、木の神様にその事をお詫びを申し上げ、作業に当たる人に怪我のないように、伐採奉告清祓のお祭をすれば、祟りや災いが起こらないと思います。

## 神棚のまつり方 その③

### 神座について（御神札の納め方）

神棚に神様をどのようにお祀りしたらよいのでしょうか。本来であれば、神様がお鎮まりになる御靈代（みたましろ）をその中に納めます。御靈代には一般に御幣や鏡を用います。しかし、神棚の場合

は御神札でこれに代えてい

ます。

神座の順

位は、中

央を最上

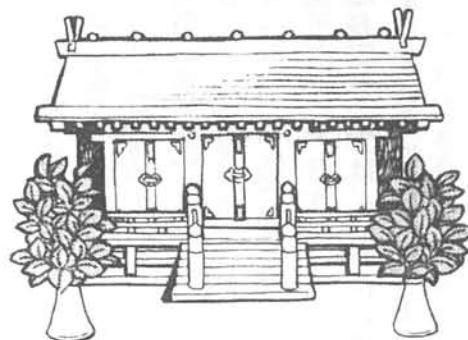
位とし、

次が向

かつて

右、そ

次が向かつて左となります。したがつて、三殿造や大きい宮形では、中央を伊勢の神宮大麻とし、向かつて右に氏神様の御神札、向かつて左にその他の信仰する神社の御神札を納めます。宮形が小さい場合（一殿造）は、神宮大麻を一番手前に、氏神様その他の神社と重ねて納めても、差し支えありません。



その他、各地の神社参拝の折にいたしました、御神札については、適宜、神棚が乱雑にならないよう、気を配つて納めて下さい。宮形に納まらない場合は、外側に並べておいても、差し支えはありません。

# お札は1年お祀りしたら神社へ

皆様のご家庭の神棚には神宮大麻（お伊勢さんのお札）を始め氏神様のお札等がお祀りされていると思いますが、

古くなつたお札はありませんか？お札や祈祷札、お守りは一年間お祀りしたら神社へお返しして新しい神札を戴きましょう。古いお札を何時までもお祀りするの

はよくありません。お札には神様のご分霊が入魂されています。神様の靈力は年が経つと人間と同じように力が徐々に弱まって行きます。古来の人はそれを穢（ケガレ）と呼び穢は氣枯れ（ケガレ）であり精気が無くなることを意味し、忌避されてきました。

私たちも魂の蘇りを神様から戴く為、毎年新しい神札をお祀りするのです。伊勢の神宮において二十年に一度、社殿を建て替える「式年遷宮」も新しい神様の靈

力を戴ぐという人間の知恵が結集されたものの最たるものです。

当社におきましては、社頭にて隨時「神宮大麻」「鶴崎神社神札」「かまど神札」を授与致しておりますので、神棚を一度開いて見て下さい。

また、古い神札は拝殿に古神札入れを用意しておりますので、神社参拝時にお納め下さい。（お寺の守札はご遠慮下さい）

## 奉 納 品

左記の品々の奉納がありました。奉納者の方々に対しまして紙上をもちまして御礼申し上げます。

幣殿厚疊二枚

御輿吊下用アングル

ワイヤー他

御輿下敷用莫蘆

有板谷製疊

吉田 薫

坪井造園

大森機械

国富写真館

## 祭事暦

五月十五日（土）「午後七時」

春季大祭前夜祭（露店あり）

五月十六日（日）「午前十時」

春季大祭〔供膳祭〕

七月三十日（金）「午後四時」

夏越祭〔輪くぐり祭〕（露店あり）

毎月一日（午前九時）月次祭

※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。

## 諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により隨時ご奉仕致しております。

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・

家内安全・当病平癒その他  
地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅  
神祭等

ご希望の方は前もつてご連絡下さい。